

2班 G:内分泌

2-2:杉本	ホルモンの受容体
2-3:谷岡	視床下部ホルモンの分泌と役割
2-4:岩井	下垂体ホルモンの分泌と役割
2-5:平永	甲状腺ホルモンの分泌と役割
2-6:高橋	副甲状腺ホルモンの分泌と役割

副甲状腺ホルモンの分泌と役割(追記)

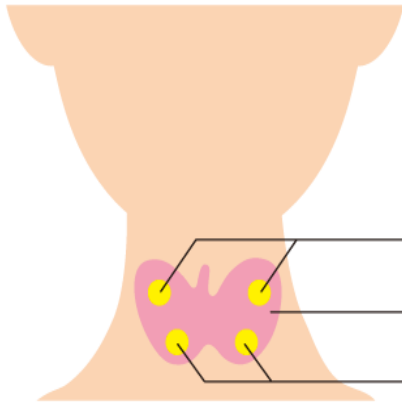
副甲状腺

副甲状腺

・パロトルモン(PTH)→血中Ca濃度上昇↑

甲状腺傍濾胞細胞

・カルシトニン→血中Ca濃度低下↓



副甲状腺

甲状腺(背面)

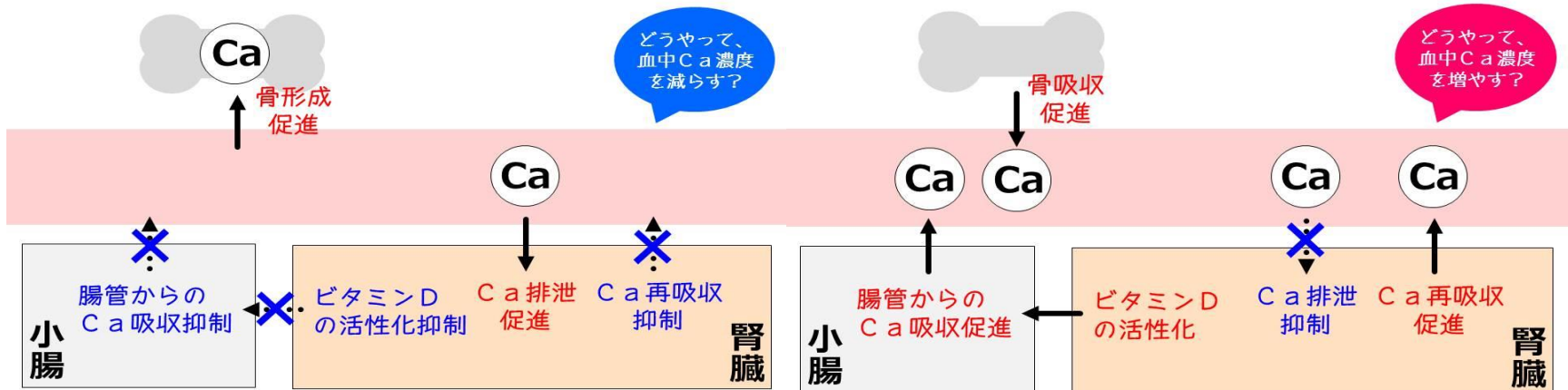
副甲状腺

国試 89・95・97・99回

PTHとカルシトニンを関連付けて出題

血中カルシウム濃度を低下させる
カルシトニン

血中カルシウム濃度を上昇させる
副甲状腺ホルモン



宿題

ホルモンの過剰症と欠乏症について

○フィードバック機構

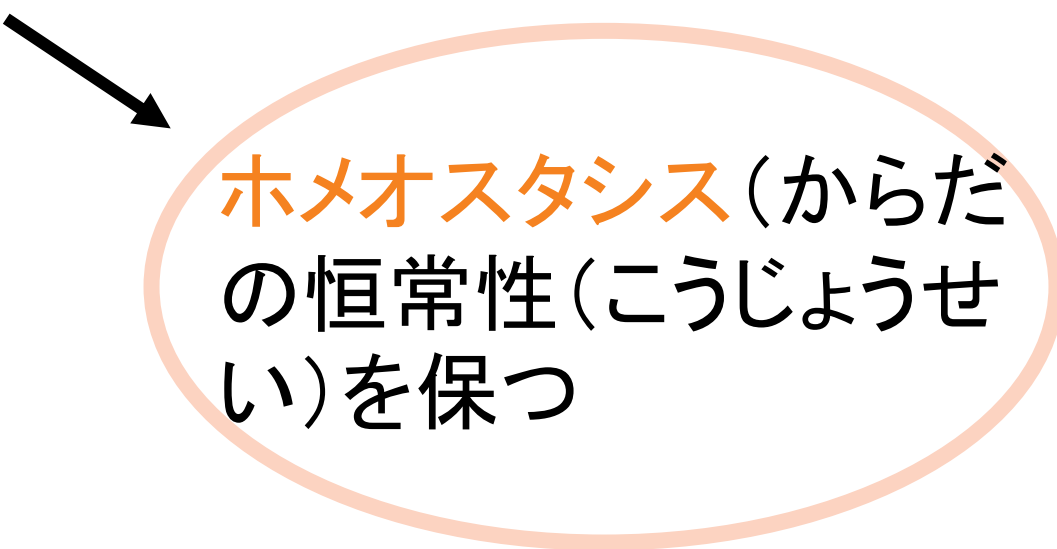
体内のホルモン分泌は、普段はフィードバック機構によって制御

(例) 血液中の甲状腺ホルモンが不足するとTRH及びTSHが分泌されて甲状腺細胞に存在するTSH受容体と結合して甲状腺ホルモンの分泌を促進,

逆に血液中の甲状腺ホルモンが多すぎるとTRH及びTSH分泌が低下して血液中の甲状腺ホルモンを低下させるように働く

TRH…甲状腺刺激ホルモン放出ホルモン

TSH…甲状腺刺激ホルモン



ホメオスタシス(からだの恒常性(こうじょうせい))を保つ

○視床下部・下垂体ホルモンの過剰症、欠乏症

ストレスや薬剤の影響、先天性なものなどによってホルモン分泌に異常が起こる

・過剰症

- ・クッシング症候群…下垂体の副腎皮質刺激ホルモン (ACTH) 産生腺腫によってコルチゾールが過剰分泌されることが原因。
- ・先端巨大症…成長ホルモン (GH) 産生下垂体腺腫から GH が自律的に過剰分泌されることによって生じる。
- ・プロラクチン産生下垂体腺腫…プロラクチン 産生下垂体腺腫からプロラクチンが自律的に過剰分泌されることによって生じる病気
- ・中枢性甲状腺機能亢進症…甲状腺刺激ホルモン (TSH) 産生下垂体腺腫から TSH が自律的に分泌され、甲状腺ホルモンが過剰に産生される病気

・欠乏症

・小人症…原因のひとつに、成長ホルモン(GH)の欠乏が挙げられる

・中枢性尿崩症…下垂体後葉から分泌される抗利尿ホルモンであるバソプレシンの分泌低下により、腎集合管での水再吸収が障害され、低浸透圧尿が多量に排泄される病態

・高プロラクチン血症…プロラクチン放出抑制ホルモン(PIH=ドパミン)の分泌に異常をきたすことが原因。抗精神病薬などのドパミンを抑える薬が原因になってしまうこともある。

ホルモンの過剰症と欠乏症について

ホルモン		過剰	欠乏
トリヨードサイロニン(T3) サイロキシン(T4) (甲状腺ホルモン)		バセドウ病	クレチン病 慢性甲状腺炎 粘液水腫
副腎皮質ホルモン	コルチゾール (糖質コルチコイド)	クッシング症候群	アジソン病
	アルドステロン (鉱質コルチコイド)	原発性アルドステロン症	
インスリン		糖尿病	

4班 E:感覚

4－1: 沖本玲哉	眼球の構造
4－2: 坪佐菜々	瞳孔と虹彩
4－3: 藤崎圭寿	緑内障
4－4: 坂谷侑星	光受容機序
4－5: 稗田納子	表皮の構造と働き

【正常眼圧緑内障について】

- ・緑内障の7割が、正常眼圧緑内障
- ・40歳以上に多い疾患
- ・初期症状はなく、暗点と視野が狭くなる
- ・眼圧は常に正常範囲（正常眼圧緑内障）
- ・視神経乳頭変化と視野変化が起こるタイプの緑内障
- ・多くの研究から視神経乳頭変化が原因

【視神経乳頭変化】

